

リサーチゼミ

「デザインで生計はたてられるか」

を保護者懇談会期間の7月24日午後1時～3時に実施しました。

講師

岐阜大学教育学部教授
河西栄二先生

助手

岐阜大学教育学部学生
本校卒業生 松尾美咲さん

受講生徒

3年生2名
2年生5名
1年生1名 計8名

講義内容

前半：芸術は一つの学問分野であること、入試では実技と学科との両方が大事であることなどをご講義いただきました。

後半：デッサン実習。一人一人に声を掛け丁寧に指導していただきました。

<受講生徒意見抜粋>

- 私はまだ行きたい学科が決まっていませんが、美術に興味があったのでこの講義を受けました。デッサンでは、本格的に教えてもらったり道具を使ったりしたので緊張しました。私は趣味としてたまに絵を描くぐらいなので、周りの美術部の子たちよりは劣っていたし、デッサンのコツや技術も知らなかったので自分の実力はまだまだだと思いました。
- 美術という枠の中でも様々な分野があって、どの分野が本当に自分のやりたいことなのかをもう一度考え確かめることができる時間にもなってとても参考になる講義でした。デッサンの指導もしていただけて、とても今後に大きくいかせる講義でうれしかったです。
- とても有意義な時間でした。まだ自分の中できちんと整理ができていないので、志望校の情報を集めて自力でまとめてみようと思います。今回のように専門の先生からじっくり話をうかがったことがなかったので、進学についても実技についても学んだことが多かったです。
- 教育美術では、絶対先生にしかないと考えて今まであまり調べていなかったけれど、並行して作品をつくっていくことができることと分かり、岐大の教育学部にも興味がわいてきました。
- 自分がしたいことを徹底的にやりつらぬいて努力すればデザインや美術でも未来を切り開いていけることがきけた。志望大学をもっとしぼり、自分がしなければならぬことや大学についてなどをしっかり調べなければならぬと思った。
- 私は小さいころから絵を描くことが好きで、中学生の時にはデザインの仕事がしたいと考えていました。しかし、親にもあまり良い顔をされませんでした。だから、一時はその夢をあきらめたこともありましたが、今回の講義を聞いて、将来の選択肢としてまた考えてみようかなと思いました。

<ゼミ風景>



手のデッサンにチャレンジ



鉛筆の削り方を学ぶ